

高分子インタラクティブ報告書

高分子溶液学研究室 M1 荒川 翔太

学会名：第18回日本MRS 学術シンポジウム

期間：2007年12月7日～9日

私は2007年12月7日～9日の3日間、日本大学駿河台キャンパスで開催されました、第18回日本MRS 学術シンポジウムに参加させていただきました。私は今まで、高分子の基礎研究の発表が中心の学会に参加してきましたが、日本MRS 学術シンポジウムは先端材料に関する学術・応用研究および実用化の発展を目的とする学会で、雰囲気がとても新鮮でした。実際他の方々の発表は非常に応用的で私達の生活に直接結びつく内容のものが多く、とても興味深いものでした。特に、クラゲからムチンをとりだすという理研の丑田先生のお話が印象に残っています。

私は2日目の午前中にポスター発表をさせていただいたのですが、多くの方々に発表を聴いていただきました。私の行っている研究を興味深いと言ってくれる方もいてとてもうれしく、自信がつかしましたが、厳しい質問や発表に関する指摘も多く受け、自分の勉強不足を痛感しました。努力をしなければならぬと思いました。今回学んだことをこれからの学校生活につなげていきたいです。